



国立大学法人 山口大学

農学部

Faculty of Agriculture, Yamaguchi University

生物資源環境科学科

Biological and Environmental Sciences

昆虫学研究分野

Entomology

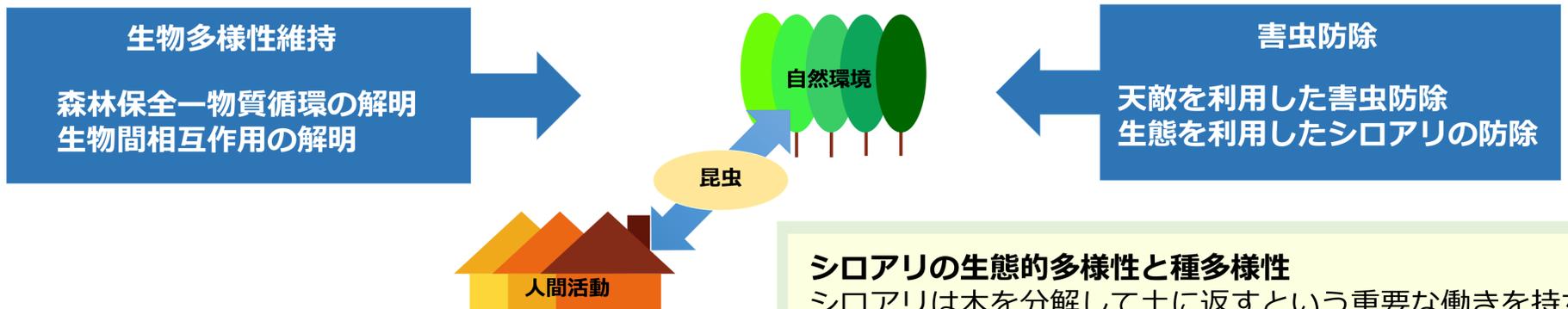
竹松葉子 (takematu@yamaguchi-u.ac.jp)



昆虫は、我々の生活や自然環境に深く関わっています。昆虫学研究分野では、昆虫を介した人と自然環境の関わりを、「生物多様性維持」と「害虫防除」の二つの側面から研究し、地球環境の保全をめざします。特に、昆虫の生態と種間・個体間相互作用、およびそれらの害虫防除への応用、森林生態系における昆虫の多様性と機能、農業生態系における天敵昆虫の役割について研究しています。

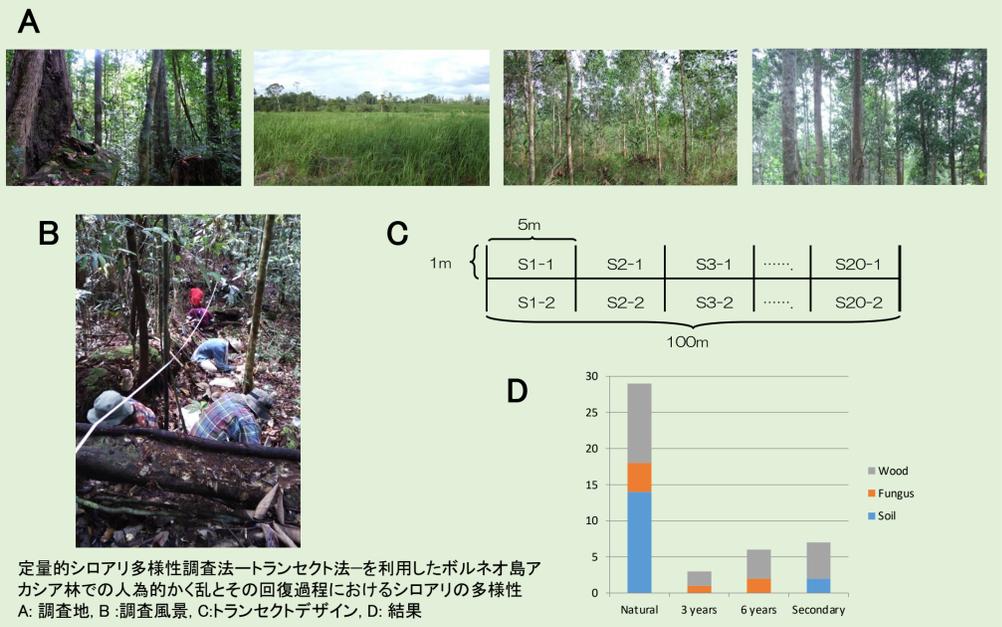
研究テーマ

1. 社会性昆虫の生態と生物間相互作用の解明
2. シロアリの生態的多様性と種多様性
3. 生物的防除における天敵の有効利用



シロアリの生態的多様性と種多様性

シロアリは木を分解して土に返すという重要な働きを持ち、森林での物質循環に欠かせない存在です。特に、シロアリなしでは熱帯雨林の存続はあり得ません。森林では、シロアリはどんな生活をし、どのくらいいて、どのような役割を果たしているのでしょうか？



社会性昆虫の生態と生物間相互作用

アリやシロアリなどの社会性昆虫は、自らの社会を維持するための特別な知恵をたくさん持っています。彼らの社会は、どのように制御されているのでしょうか？



アザミウマを捕食するヒメハナカメムシとヒメハナカメムシの卵



カメムシ卵に寄生をする卵寄生蜂



ケヤキ樹皮下で越冬する卵寄生蜂

生物的防除における天敵の有効利用

天敵を利用して害虫を防除することは生物的防除と呼ばれ、環境に優しい害虫防除法として注目されています。

タイリクヒメハナカメムシは、難防除害虫アザミウマの捕食性天敵として生物農薬に登録されている昆虫です。どのようにしたらタイリクヒメハナカメムシは、たくさんのアザミウマを食べてくれるのでしょうか？

また、害虫カメムシには、多くの卵寄生蜂が生物的防除に役立っています。それらの生活史や寄主特異性を研究しています。